

ウラジオストク滞在に関する報告について（6月分）

1. ウラジオストク国立経済サービス大学（ブグェス）での授業について

6月は、水曜日及び金曜日に行われていた個人授業が無くなり、平日に毎日2コマの授業を受ける日々が続きました。授業内容は下旬頃から、7月1日（木）、2日（金）に行われる定期試験のため、復習が中心となりました。

月	火	水	木	金
文法	読解	文法	文法	読解
会話	読解	作文	会話	読解

6月中に他の学部 of 学生は試験を終え、2カ月強の夏休みに入ります。そのため、中旬頃から学内の学生の数はまばらになり、食堂等も閉鎖されていました。学生の中にはこの夏休み期間に学内でインターンシップに参加する学生もおり、すでに知り合っていた日本語学科の学生も働いていました。

2. 市内でのイベントについて

市中心部の海岸通りにて、6月5日（土）～7日（月）まで囲碁をフューチャーしたイベントがありました。市内で行われた囲碁の世界大会の開催に合わせて行われたイベントであり、ステージが設けられたり、囲碁で遊ぶスペース等が設けられたりと、大変盛り上がっていました。中には囲碁とは無関係にバスケットボールコートが設置され、市内の学生が3on3をしていたり、ステージではカラオケ大会が行われていたり、主催者側のとにかく楽しめればよいという気概を感じました。

なお、イベントに先駆け、知り合いを頼って囲碁で初めて遊んでみましたが、8歳のロシア人の男の子に完敗しました。

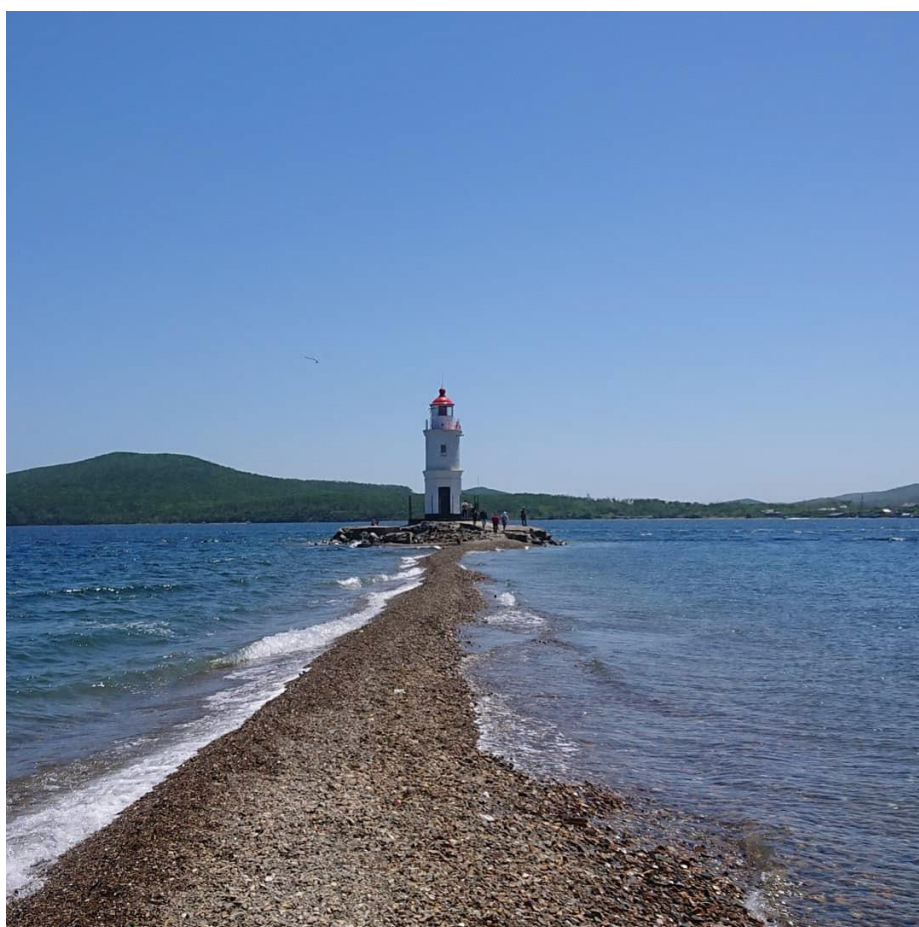


(写真1 巨大な囲碁で遊ぶロシア人の子供たちの様子)

また、6月12日（土）はロシア共和国が主権宣言を採択した日であり、「ロシアの日」を呼ばれています。この日も同様に海岸通りにてイベントが開催され、盛大に祝われていました。

3. 市内観光（トカレフスキー灯台）について

友人に誘われ、市郊外にあるトカレフスキー灯台に行きました。灯台は海に囲まれており、絶景を拝むことができます。なお、満潮時には灯台まで繋がる浅瀬が消え、渡ることができないので注意が必要です。また、自家用車が無ければアクセスは不便で、最寄りのバス停から20分強、時折歩道のない道を歩かなければいけません。この点は素敵な観光地だけに惜しいなと感じました。



（写真2 海の青と灯台の白がよく映えています）

4. ウラジオストク市内の状況について

・治安状況

今月、当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

・市内の様子

モスクワやサンクトペテルブルク等の大都市で感染が再拡大していることは日本でも報じられているところですが、ウラジオストク市のある沿海地方でも新型コロナウイルスの感染者数は増加傾向です。人通りの多い海岸通りでは、時折ワクチン（スプートニク V）の接種が可能な簡易スペースが設けられ、接種する方も見受けられました。



(写真3 簡易的なワクチンの接種会場)

(参考) 沿海地方の新型コロナウイルス感染状況 (7月4日)

累計感染者数 47,675人 累計死者数 806人

1日の感染者数 220人 1日の死者数 6人

・気候

相変わらず雨の日が多いですが、同様に暖かく晴れた日も増えてきており、海岸沿いでは、日中に体を焼く方が増え、短い夏を最大限楽しもうというロシア人の気概を感じました。また21時頃までは外もあまり暗くはならず、活動可能な明るい時間が多いという点でも、ウラジオストクは観光地に向いているのだと再確認しました。



(写真4 お昼ごろのビーチの様子)